

皆様、おはようございます。

日々最高気温が30度を上回り、災害級の暑さの所もあると叫ばれていますが、皆様お元気にお過ごしでしたでしょうか。

7月の礼拝も今日で最後となり、8月に入ります。皆様この1か月、是非とも熱中症にお気を付け頂き、お部屋を涼しくして、水分補給を心掛けて下さい。外に出る時は特に気づけて下さい。皆様方のご健康をお祈りしております。

さてヘブル書も9章に入りました。

前章では、地上の聖所は「天にある聖所のひな型と影」であると語られ、天には「人間によらず主によって設けられた真の幕屋なる聖所」があると語られました。

そして今日も、地上の幕屋と天の聖所について、地上の幕屋のために捧げられるいけにえと、天の聖所のための捧げものが語られます。

- 1 さて、初めの契約にも、礼拝についてのさまざまな規定と、地上の聖所とがあった。
- 2 すなわち、まず幕屋が設けられ、その前の場所には燭台と机と供えのパンとが置かれていた。これが、聖所と呼ばれた。
- 3 また第二の幕の後に、別の場所があり、それは至聖所と呼ばれた。
- 4 そこには金の香壇と全面金でおおわれた契約の箱とが置かれ、その中にはマナのはいつている金のつぼと、芽を出したアロンのつえと、契約の石板とが入れてあり、
- 5 箱の上には栄光に輝くケルビムがあつて、贖罪所をおおっていた。これらのことについては、今ここで、いちいち述べることができない。
- 6 これらのものが、以上のように整えられた上で、祭司たちは常に幕屋の前の場所にはいつて礼拝をするのであるが、
- 7 幕屋の奥には大祭司が年に一度だけはいるのであり、しかも自分自身と民とのあやまちのためにささげる血をたずさえないで行くことはない。

幕屋に聖所と至聖所がありました。祭司たちは常に幕屋の前の場所にはいつて礼拝をするのですが、幕屋の奥には大祭司が年に一度だけはいるのでした。祭司は神の臨在が現れる全面金でおおわれた契約の箱の前に年に一度しか進むことが出来ませんでした。そしてその時には「自分自身と民とのあやまちのためにささげる血をたずさえないで行くことは」ありませんでした。

8 それによって聖霊は、前方の幕屋が存在している限り、聖所にはいる道はまだ開かれていないことを、明らかに示している。

そして神様の臨在の現れる至聖所の前には聖所があり、従ってそれは誰でも押しとどめるものなく神様の前に行くことは出来なかったということを意味します。

9 この幕屋というのは今の時代に対する比喩である。すなわち、供え物やいけにえはささげられるが、儀式にたずさわる者の良心を全うすることはできない。

「この幕屋」とは、地上の幕屋の事であり、(キリストによる新しい契約と比較して)古い契約の事を指します。この幕屋も、モーセを通して与えられた契約も素晴らしい、意味あるものですが、前章にありましたように欠けがあり、「供え物やいけにえはささげられるが、儀式にたずさわる者の良心を全うすることはできない」と語られています。これは随分と積極的な踏み込んだ表現だと思います。前章の「欠け」という表現に合わせて、新しい契約がどんなに優れたものであるかを鮮明に言い表すための誇張的な表現をも含んでいると思います。

10 それらは、ただ食物と飲み物と種々の洗いごとに関する行事であって、改革の時まで課せられている肉の規定にすぎない。

11 しかしキリストがすでに現れた祝福の大祭司としてこられたとき、手で造られず、この世界に属さない、さらに大きく、完全な幕屋をとおり、

12 かつ、やぎと子牛との血によらず、ご自身の血によって、一度だけ聖所にはいられ、それによって永遠のあがないを全うされたのである。

神様は、その頑迷な民の完全な救済のためにより完全な契約をもって、完全な天の聖所に人を招くために、人の手で造られない天の聖所にて、祝福の大祭司としてキリストを、地上の至聖所より完全な天の幕屋を通らされ、やぎと子牛との血によらず、ご自身の血によって、一度だけ聖所にはいられ、それによって永遠のあがないを全うされたのです。

13 もし、やぎや雄牛の血や雌牛の灰が、汚れた人たちの上にまきかけられて、肉体をきよめ聖別するとすれば、

14 永遠の聖霊によって、ご自身を傷なき者として神にささげられたキリストの血は、なお

さら、わたしたちの良心をきよめて死んだわざを取り除き、生ける神に仕える者としないうか。

「供え物やいけにえはささげられるが、儀式にたずさわる者の良心を全うすることはできない」このことが、頑迷な民を前にしての神様の長年の痛みでした。

しかしここに、神様は「永遠の聖霊によって、ご自身を傷なき者として神にささげられたキリストの血」により、「なおさら、わたしたちの良心をきよめて死んだわざを取り除き、生ける神に仕える者と」してくださいました。

良心を全うすること、動物の死を身代わりに、人が怖れと後悔と砕かれた心をもって主を礼拝することを主は望んでおられました、それによって出来ないことを主は私たちにしてくださいました。

ローマ 8:1 こういうわけで、今やキリスト・イエスにある者は罪に定められることがない。

8:2 なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則は、罪と死との法則からあなたを解放したからである。

8:3 律法が肉により無力になっているためになし得なかった事を、神はなし遂げて下さった。すなわち、御子を、罪の肉の様で罪のためにつかわし、肉において罪を罰せられたのである。

「永遠の聖霊によって、ご自身を傷なき者として神にささげられたキリストの血は、なおさら、わたしたちの良心をきよめて死んだわざを取り除き、生ける神に仕える者としないうか。」

これでもか、これでもかと、神様は私たちの救いのために御業を成して下さいます。これが新しい契約です。神様は、深いところにデーモンと座って構えて、罪深い下々よ、われの所に来て、誤って、いけにえを捧げ、謝罪をせよとおっしゃる方かと思えば、私たちの所に御子を送り、私たちの所に来られ、逆にキリストによる罪の贖いを与え、私たちを招いておられるのです。至聖所の幕は切り裂かれ、キリストの贖いにより、神様に行く道は今明らかになっているのです。どうして私たちはなおも心を頑なに、ここまで愛して下さるお方のみ顔を仰ぎ、感謝して近づき、礼拝を捧げずにいられるのでしょうか。

15 それだから、キリストは新しい契約の仲保者なのである。それは、彼が初めの契約のも

とで犯した罪過をあがなうために死なれた結果、召された者たちが、約束された永遠の国を受け継ぐためにほかならない。

16 いったい、遺言には、遺言者の死の証明が必要である。

17 遺言は死によってのみその効力を生じ、遺言者が生きている間は、効力がない。

18 だから、初めの契約も、血を流すことなしに成立したのではない。

19 すなわち、モーセが、律法に従ってすべての戒めを民全体に宣言したとき、水と赤色の羊毛とヒソプとの外に、子牛とやぎとの血を取って、契約書と民全体とにふりかけ、

20 そして、「これは、神があなたがたに対して立てられた契約の血である」と言った。

21 彼はまた、幕屋と儀式用の器具いっさいにも、同様に血をふりかけた。

22 こうして、ほとんどすべての物が、律法に従い、血によってきよめられたのである。血を流すことなしには、罪のゆるしはあり得ない。

すべての救いには身代わりの死が必要です。血のきよめが必要です。相続の契約がなされるためには死が必要です。それらのすべてを、神様は御子の死によって私たちにもたらしてくださいました。

23 このように、天にあるもののひな型は、これらのものできよめられる必要があるが、天にあるものは、これらより更にすぐれたいけにえで、きよめられねばならない。

24 ところが、キリストは、ほんとうのものの模型にすぎない、手で造った聖所にはいらな
いで、上なる天にはいり、今やわたしたちのために神のみまえに出て下さったのである。

25 大祭司は、年ごとに、自分以外のものの血をたずさえて聖所にはいるが、キリストは、
そのように、たびたびご自身をささげられるのではなかった。

26 もしそうだとすれば、世の初めから、たびたび苦難を受けねばならなかったであろう。
しかし事実、ご自身をいけにえとしてささげて罪を取り除くために、世の終りに、一度だけ
現れたのである。

血の聖所にてきよめるものが動物の血であるならば、天の本当の聖所ではそれに勝る捧げ
ものがなくてはならず、それがキリストイエスの血であることが語られます。

しかしそのキリストご自身の血は、動物の血とは異なり、度々ささげられなければならない
ものではありません。

27 そして、一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることとが、人間に定まっている

ように、

28 キリストもまた、多くの人の罪を負うために、一度だけご自身をささげられた後、彼を待ち望んでいる人々に、罪を負うためではなしに二度目に現れて、救を与えられるのである。

私たちが何度も死ぬものではないように、キリストもまた一度だけ私たちのために死なれ、多くの人の罪を贖い、そして再臨の時に新しい契約のうちに、永遠の救いの世が始まるのです。

そのような完全な救いの内に入れられている私たちのみの上に感謝しつつ、今週の歩みに進みたいと願うのです。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。イエス様は御自身をいけにえとして献げて罪を取り去るために、現れてくださいました。イエス様は多くの人の罪を負うために身を献げて下さいました。雄山羊と雄牛の血、また雌牛の灰が、汚れた者たちに振りかけられて、彼らを聖なる者とし、その身を清めるならば、キリストイエスの血は、どんなにか人の心をきよめ、新しく変えて祝福の新しい人生に導き入れることでしょうか。主の命による新しい契約の祝福を、本当にありがとうございます。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン